市立病院 リレーコラム 72

医療の現場から

アレルギーのはなし

耳鼻咽喉科　診療部長　竹内　和郎

道路のあちこちに残っていた雪も消え、外出する機会がだんだんと増えてくるこの季節になると、くしゃみ、鼻水、目のかゆみといった症状を訴え来院される患者さんが増えてきます。これはこの時期北海道ではハンノキ、イチイ、シラカバの花粉症が始まるためで、5月の連休明けにピークを迎え例年6月の初めころまで続きます。花粉症の症状は患者さんによってさまざまですが、くしゃみ、鼻水、目のかゆみといった症状が比較的飲み薬で治りやすいのに対し、鼻詰まりの症状はなかなか良くならない傾向があります。

鼻詰まりや鼻水のため鼻を頻繁にかんでいるうちに、耳が詰まった感じがいつまでも取れなくなった、あるいは耳の聞こえが悪くなったという症状を病院に来た時に話される方がいます。

皆さんも経験があると思いますが列車が急にトンネルに入ったときや、エレベーターで高い階へ上がったときに起きる耳がツーンとしたあの感じです。

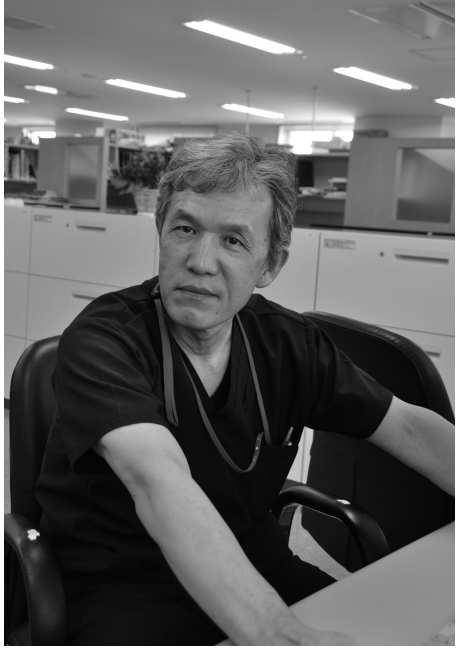
人間の耳と鼻は耳管（じかん）という管でつながっていて、鼓膜の外側（外耳道）と内側（中耳）の気圧を同じに保つよう作られていますが、花粉症の患者さんが強く鼻をかんだり、鼻が詰まった状態が長く続くと、耳管の通りが悪くなりこうした耳の症状が現れてくるのです。これらの耳の症状は鼻の治療を行うことで少しずつ良くなるものですが、ときどき中耳炎に進行してしまい、治療のため長期間通院しなければならなくなることもあります。

花粉症の症状は、花粉の飛散時期が過ぎれば自然に治まってくるため、患者さんがいつまでも花粉症に悩まされるということはありませんが、シラカバ花粉症の患者さんの中で、その後リンゴなどの果物を食べると口の中がかゆくなるようになったという症状を訴え受診される方がいます。

同じような経験をされた方もいると思いますが、これはシラカバ花粉症の患者さんに見られる口腔アレルギーによる症状です。リンゴの他にモモ、ナシ、サクランボ、キウイ、メロンといった果物でも起こることがあり、これはシラカバ花粉に含まれるタンパク質とこれらの果物に含まれるタンパク質が同じような抗原性（アレルギーの原因となる性質）を持つために起こると言われています。

口腔アレルギーの症状はほとんどの場合果物を食べた後の唇や口の中のかゆみ、ピリピリ感、のどの詰まった感じなどで、短時間に消失しますが、まれに全身のじんましんや呼吸困難などの重い症状を来すことがあるため注意が必要です。果物が好きでどうしても食べたいという方は、無理して食べ続けたりせず、可能であれば果物を加熱調理して食べることで、これらの症状を避けることができます。

これから始まる花粉症の季節、皆さん鼻を大切にしてください。



●5月の救急医療機関●

平　日

電話で時間外診療の協力医療機関をお知らせします。
救急テレホンセンター
TEL22－2299

休　日

【内科・小児科】
診療時間　8時30分～翌日8時30分
市立病院
TEL22－4311（大町2－2）

【外　科】
診療時間　8時30分～翌日8時30分
3日㈬　市立病院
4日㈭　滝川脳神経外科
5日㈮　市立病院
7日㈰　滝川脳神経外科
14日㈰　市立病院
21日㈰　滝川脳神経外科
28日㈰　市立病院
※市立病院
TEL22－4311（大町2－2）
※滝川脳神経外科
TEL22－0250（西町1－2）

【歯　科】
診療時間　9時～ 12時
3日㈬　Eデンタルクリニック
TEL24－9469（緑町1－5）
4日㈭　啓南歯科医院
TEL24－1020（中島町4－1）
5日㈮　多比良歯科医院
TEL54－3510（砂川市東7南5）
7日㈰　コスモデンタルクリニック
TEL23－3630（大町3－4）
14日㈰　とくだ歯科医院
TEL75－2056（江部乙町西12－5）
21日㈰　メープル歯科
TEL24－5800（東町5－8）
28日㈰　森歯科医院
TEL52－2789（砂川市西1南11）